



01 通信及びプロジェクトの概要

～東部地域のまちづくりの仲間が増えることを期待～

このまちづくり通信は、市が2022年3月に策定した「東部振興振興構想」に基づき、地域住民をはじめとした多様な人がつながり、連携・協力するまちづくりを目指し、市主催により開かれている「東部地域でつながり、やってみようプロジェクト」の状況を多くの人にお伝えし、東部地域のまちづくりの仲間の輪を広げるため、発信しています。このまちづくり通信を見て、東部地域のまちづくりに参加してみようと思ってもらえることを期待しています。

～東部地域でつながり、やってみようプロジェクト2023～

本プロジェクトは4/23、5/7、5/28の3回ワークショップで活動のテーマ・内容を考え、グループを結成し、お試しまちづくり(トライアル活動)を進めていきます。昨年度の状況は、ホームページからご覧いただけます。



(東部地域でつながり、やってみようプロジェクト)

02 ワークショップがスタート

東部地域でつながり、やってみようプロジェクト2023が4/23(日)小牧勤労センターでスタートを切りました。

～東部まちづくり推進室長から～

開催にあたり、小牧市東部まちづくり推進室、横井室長からあいさつで、‘人と人とのつながり’を大切にし、‘失敗を恐れず、まずはやってみよう!’と、行政と一緒に一歩踏み出せるワークショップにしていきたいとの想いが参加者に伝えられました。



～アイスブレイク(自己紹介)～



第1回目で、はじめましての人が多くということもあり、自己紹介を行いました。緊張している雰囲気から和やかな雰囲気に一変しました。

03 ガイダンス



まず、はじめに、本プロジェクトの趣旨、プロジェクトのスケジュールや東部地域の現状などを参加者の方と共有するため、東部まちづくり推進室の職員がガイダンスを行いました。

東部地域の現状では、クイズも交えながら東部地域の人口推移や東部地域の特産物など、東部地域の特徴について勉強しました。

問題

東部地域で生産されている特産物の正しい組み合わせをどれでしょう?

- ①マンゴー、ドラゴンフルーツ、ドリアン
②メロン、スイカ、イノシシ肉
③もも、ぶどう、名古屋コーチン

ちなみに右のクイズ、正解はどれでしょうか?
< 答えは左下にあるよ >

04 個人ワーク「東部地域に対する関心事・(地域)課題を整理しよう!」

はじめに、個人ワークとして、参加者一人ひとりが、「①私に関心を持っていること」「②東部地域で課題に感じていること」についてワークシートを使用し、自分なりに整理してみました。

隣の人と少しおしゃべりしながら、ガイダンスで学んだ「東部地域の頭の片隅にいれながら、また、配布された振興構想の概要版も見ながら、参加者の



方は課題を書き出していました。

本プロジェクトには、10、20歳代の学生から、60歳代以上のシルバー世代までの幅広い年齢層、居住地も東部エリアから市外までと様々な方にご参加いただきました。それぞれの目線から様々な課題が見えてきました。



05 参加者間交流

個人ワークの後、途中でメンバーを入れ替える‘ワールドカフェ形式’で多くの参加者と交流できる時間を設けました。

個人ワークでそれぞれ整理した「関心事」や「東部地域の課題」を共有することで、「この人は、自分と似たような課題を感じているんだ」、「自分では思い浮かばなかった課題だけど確かに大事な視点だな」など、自分が感じた東部地域の課題について深め



第1回のゴールとなる「私取り組みたいと思うこと」を個人ワークで行いました。

参加者間交流したことでイメージが膨らんできたのか、「こんなテーマで活動してみたい!」、「こんな場所で活動がしてみたい!」などアイデアがたくさん出ていました。

【一部ご紹介】

- 高齢者の生活の手助け
○若者や子育て世代に東部地域を知ってもらいたい
○幼稚園、保育園以下の子どもたちが対象のイベント
○特産物のPRイベント、豊かな自然の魅力発信
○地産地消の取組
○空き家、耕作放棄地、土地の資源の活用
○公園の遊び場以外(イベント、マルシェ)の活用
○東部地域のイメージ・知名度の向上
○地域住民のつながりづくり

第1回となる東部地域でつながり、やってみようプロジェクト2023では、終始、和気あいあいとした雰囲気のなか、幅広い世代が、それぞれの関心事などを意見交換することで、新たなつながりが生まれました。

次回のワークショップでは、グループワーク等を通じて、自分がやってみよう活動は何かをさらに深めていきます。

本プロジェクトは、途中からの参加も大歓迎です。本まちづくり通信をご覧になり、興味をもっていただいた方は、お気軽にお問合せください。

